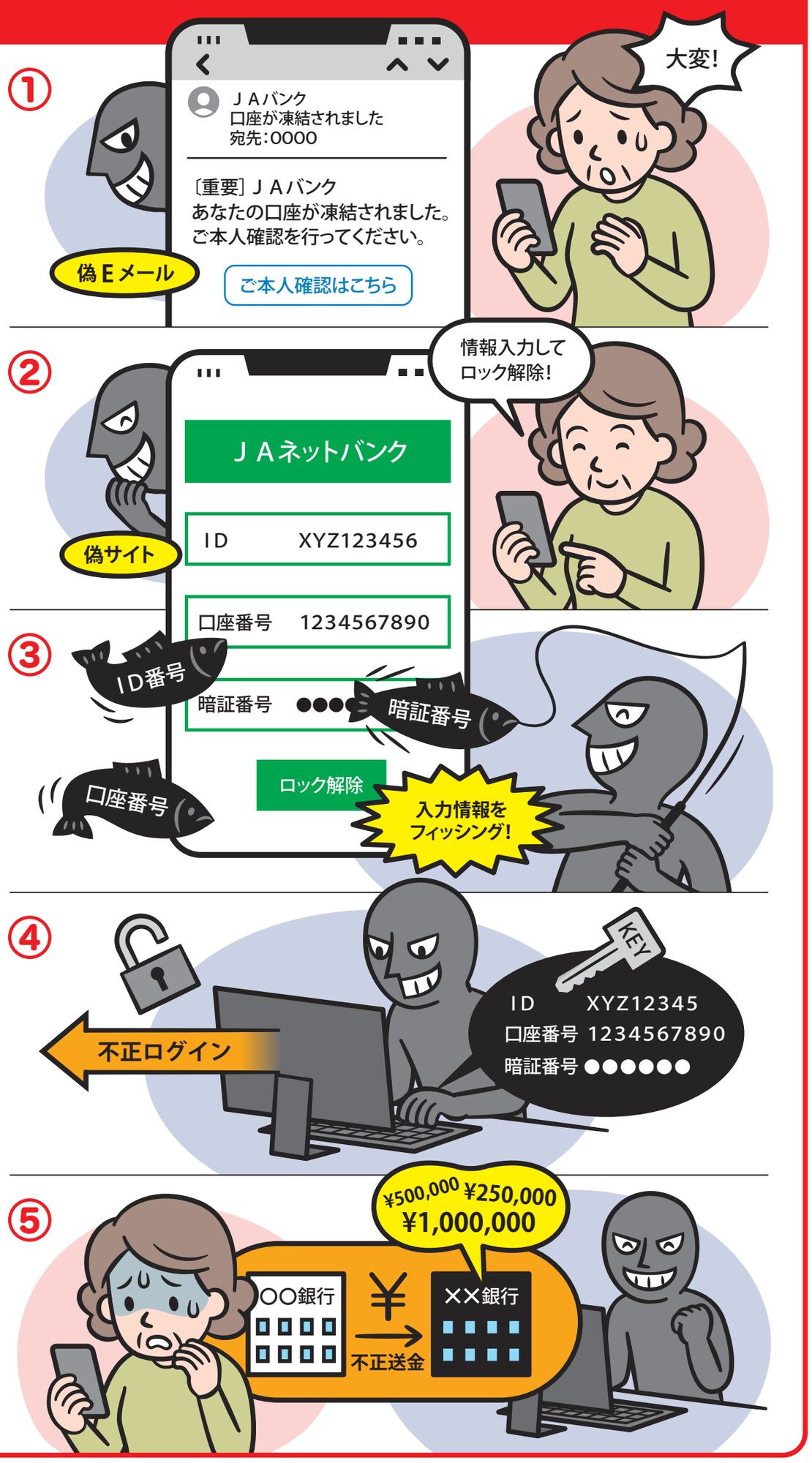
特殊詐欺にご注意ください

詐欺の手口は年々多様化、巧妙化しており、電話だけでなく、メールやインターネットを悪用した見分けがつきにくいケースが増えています。
偽物のメールやサイトにアクセスすることで、不正送金や情報漏えいなど重大な被害に遭う危険があります。

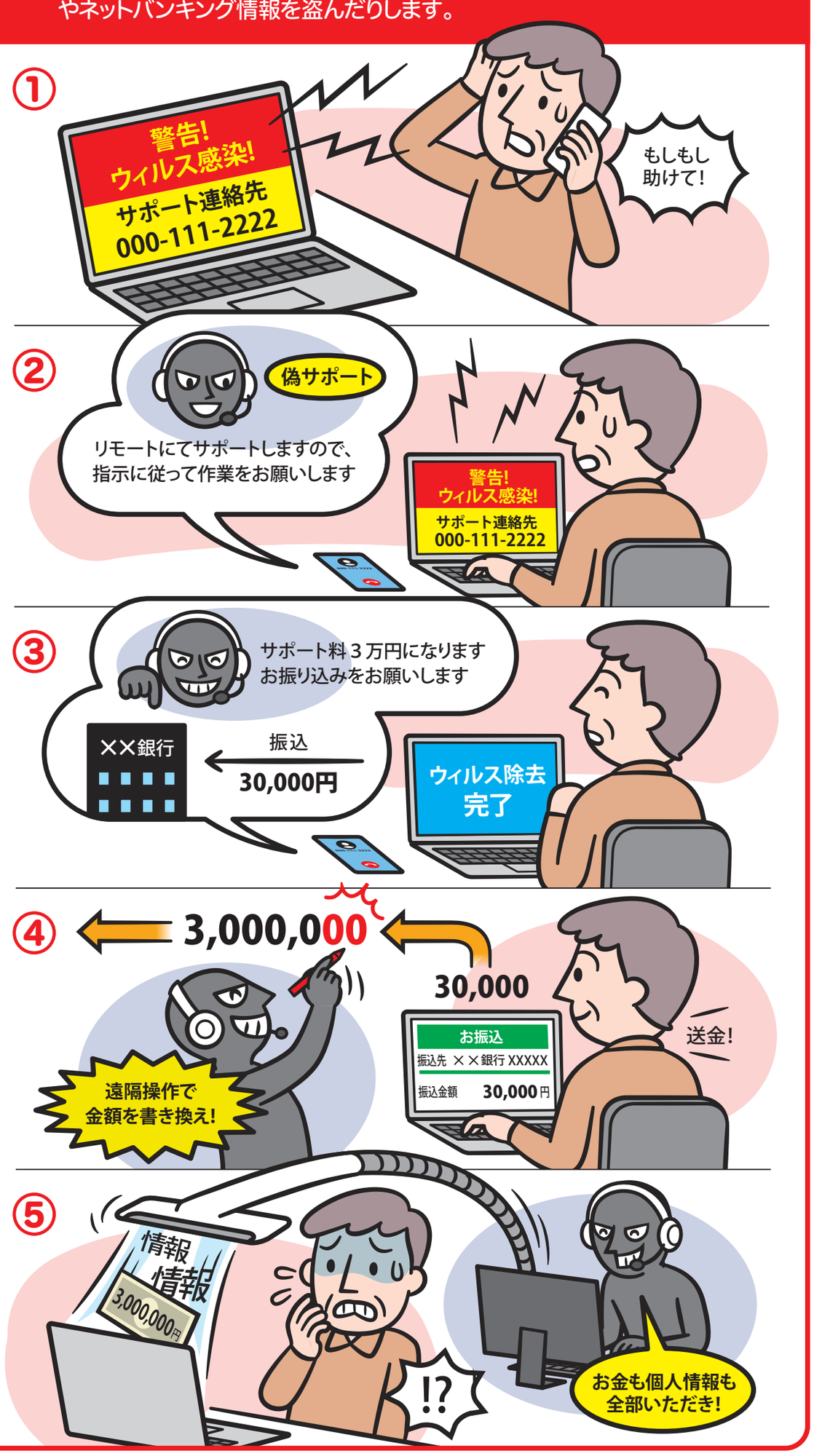
フィッシング詐欺

金融機関や公的機関、通販サイトを装い、偽メールや偽サイトへ誘導し、ID・パスワード、口座情報、暗証番号などの個人情報を入力させることで情報を盗み取ります。



サポート詐欺

パソコン上で「ウイルスに感染しました」「サポート窓口に連絡してください」などと偽の警告画面を表示し、サポート窓口で解決をするフリをして高額な費用を請求したり、遠隔操作ソフトをインストールさせ、個人情報やネットバンキング情報を盗んだりします。



Check! 特殊詐欺チェックリスト

- □ 暗証番号を教えてください
- □ お金が戻ってきます
- □ カードの交換が必要です
- □ カード・口座が悪用されています
- □ 警察がご自宅に伺います
- □ このままだと逮捕される可能性があります
- □ このやり取りを口外すると罪に問われます
- □ 期日までに対応を行わないと取引が制限されます
- □ 指示に従ってATMの操作をしてください

1つでも当てはまったら詐欺です！
すぐに電話を切って家族や身近な人に相談しましょう。

Point! 詐欺にだまされないためには

- 警察・公的機関を名乗る者から突然電話が来ても、一度電話を切り、申し出内容が正しいか確認するため電話をかけ直しましょう。その際、電話番号は自分で調べ直しましょう。
- 少しでも様子がおかしいと感じたら、家族や友人など身近な人に相談しましょう。事前に家族間で話し合っておくのも効果的です。
- 詐欺の手段は電話が8割近くを占めています。常に留守番電話機能を設定しておき、通話の録音や防犯機能が付いた迷惑電話防止機器を使いましょう。
- 警察・検察は個人のスマートフォンに突然ビデオ電話をすることはなく、国際電話で連絡することもありません。不審な点がないか、落ち着いて確認しましょう。

JAバンクは被害拡大防止に向けて、店舗での「声掛けの徹底」に取り組んでいます。

ATM付近で携帯電話を利用している方や窓口で多額の現金を引き出そうとしている方には、
現金のご利用目的などをお伺いすることがございます。何卒ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

日本農業新聞掲載

ＪＡ青森